1 頁

作成日 令和 令和 5年度 事務事業評価表 (個票) 課名 |健康推進部地域包括ケア推進課 6年 8月 1日 施策名 高齢者保健・福祉 基本目標 健康で福祉が充実したまち 施策の目的 高齢者が住み慣れた地域で、人生の最期まで自分らしい生活を送ることができる社会を実現すること。 施策の方向 認知症施策の総合的な推進 認知症の人やその家族を支援するための相談支援体制の充実や、行方不明時の見守りに関する事業の普及啓発が進み、概ね計画どおりとなった。認知症サポーターの養 ■ 計画どおり 令和 5年度 成者数は計画値に達していないものの、養成したサポーターが地域で認知症の人やその家族を支えるボランティアとして活動できるような支援を進める事ができた。ま □ 遅延 |た、若年性認知症の人への支援として本人ミーティングを新たに開催、若年性認知症本人を講師とした講演会等の実施や本人と家族を一体的に支援する事業に**積極的に** の評価 □ 進展なし 取り組み、認知症施策の総合的な推進に寄与した。 **冷和6年3月策定の高齢者保健福祉計画等に基づき、改善充実を図りながら引続き各種事業を継続する。認知症地域支援推進員による地域づくりの強化を図るため活動** ■ 維持 口 拡大 の整理を行うとともに、個別相談や事業では認知症の人及びその家族の視点を重視し、話しやすい環境や機会を提供していく中でニーズを把握し、認知症施策への反映 今後の方向性 (改善措置等) □ 縮小 に努め、認知症施策を推進していく。 口 改善 事務事業名 活動内容 コスト (事業費:千円) No. | 令和 4年度 | 令和 5年度 | 令和 5年度 | 令和 6年度 | 令和 4年度 | 令和 5年度 | 令和 5年度 | 令和 6年度 認知症高齢者見守り事業(地域包括ケア推進課) 活動指標名 計画 実績 計画 決算 当初予算 決算 当初予算 実績 認知症サポーターの養成 人 10840 10.412 11420 全体事業概要 404 |認知症になっても安心して暮らせるよう地域で支え合 | [1 者数 426 365 491 262 |う体制づくりを推進するため、認知症サポーターを育 26 24 成するとともに、認知症で見守りが必要な高齢者等を 認知症サポーター養成講 回 18 25 ■事前登録し、QRコードシールにより見守る事業を実 座の開催回数 施する。 令和 7年度の優先度 認知症高齢者等見守り登 145 123 180 185 録事業の登録者数累計 ПΑ ΠВ ПС 認知症サポーター養成講座は、一般住民のほか金融機関やスーパーマーケット、専門学校等で実施し、幅広い年 口 計画どおり 令和 5年度 :齢層への知識の普及を行った。計画値には達していないが、ちらしや広報等で周知を行うとともに、講師の活動 口 遅延 の評価 芝援を行い開催回数の増加に努めた。見守り登録事業に関しては市内医療機関や企業、居宅介護支援事業所へ周 ■ 進展なし 知を行い、目標を上回る登録者数となった □ 維持 □ 拡大・認知症サポーター養成講座の開催に向け、さらなる周知や開催方法の工夫を行っていく。認知症サポーターの量 事業区分 □ 自治事務 □ 法定受託 □ その他 今後の方向性 □ 縮小 ■ 改善:的な拡大を図る事に加え、認知症サポーターがより学びを深め、認知症の方やその家族を支える担い手となるこ (改善措置等) |□ 休止 □ 終了∷とができるよう、他事業と連携しながら育成していく。見守り登録事業に関しては今後も周知活動を継続し、地 計画対象 □ 実施計画査定対象 □ 行政改革対象 域での見守り体制づくりの推進を図っていく。 □ 廃止 No. 事務事業名 活動内容 コスト (事業費:千円) |令和 4年度||令和 5年度||令和 5年度||令和 6年度||令和 4年度||令和 5年度||令和 5年度||令和 6年度 認知症初期集中支援推進事業 単位 活動指標名 実績 計画 実績 計画 決算 当初予算 決算 当初予算 認知症初期集中支援チー 全体事業概要 9 ■認知症初期の支援として、認知症が疑われる人や認知 ムのチーム員人数 <u>症の人及びその家族を訪問し、必要な医療や介護の導</u> 379 1.046 692 969 入・調整と家族支援を包括的・集中的に行う認知症初 ▋期集中支援チームを配置し、自立生活を支援する。 令和 7年度の優先度 □в 認知症サポート医1名、地域包括ケア推進課より3名、各地域包括支援センターよりそれぞれ1名ずつ選出し、9名 ■ 計画どおり でチーム員を構成。定期的にチーム員会議等で事例検討を行いながら、初期集中支援を実施した。また自分でで 令和 5年度 □ 遅延 の評価 きる認知症の気づきチェックリストの送付により早期からの相談を促し、定期的なもの忘れ相談会を開催し対象 □ 進展なし 者の把握に努めた。 ■ 維持 □ 拡大:各地域包括支援センターの認知症地域支援推進員との連携を深め、各圏域で初期集中支援ができるようにしてい 事業区分 □ 自治事務 □ 法定受託 □ その他 今後の方向性 ┃□ 縮小 □ 改善:くとともに、チームの周知を行う。認知症疾患医療センターや三島市医師会等、関係機関との情報共有を図り、 □ 休止 □ 終了::ファイブ・コグ、もの忘れ相談、自分でできる認知症の気づきチェックリストなど他事業と連携して早期からの (改善措置等) □ 実施計画査定対象 □ 行政改革対象 |計画対象| □ 廃止 支援に繋げていく。

2 📱

		令和 5年度	事務事業評価表	表(	(個票)			課名 健康	推進部地域包	包括ケア推進	課	作成日	□ 令和 6:	年 8月 1	日
概	施策名	高齢者保健・	福祉						基本目標	健康で福祉が	充実したまち				
要	2071 T T T	高齢者が住み	慣れた地域で、人生の	)最	期まで自分ら	らしい生活を説	送るこ	とができる社会	会を実現するこ	٤.					
	施策の方向	認知症施策の													
			認知症の人やその家族												
	令和 5年度		成者数は計画値に達し												
	の評価	口進展だし	た、若年性認知症の丿					「を新たに開催」	、若年性認知症	上本人を講師と	した講演会等	の実施や本人と	∶家族を一体的	内に支援する事	幕業に積極的に
				進に寄与した。											
		事齡	鈴者保健福祉計画等に基づき、改善充実を図りながら引続き各種事業を継続する。認知症地域支援推進員による地域づくりの強化を図るため活										図るため活動		
	今後の方向性			•			症の人	人及びその家族の視点を重視し、話しやすい環境や機会を打				<b>提供していく中でニーズを把握し、認知症施策への反映</b>			
	(改善措置等)	に努め、認知症施策を	を推	推進していく。											
		口 改善													
No.	事務事業名							活動内容				コスト(事業費:千円)			
	認知症地域支援・ケア向上事業				活動指標名		  単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 5年度	令和 6年度			令和 5年度	
								実績	計画	実績	計画	決算	当初予算	決算	当初予算
	全体事業概要				認知症地域支援推進員の			8	8	8	8				
	認知症高齢者等の地域での生活を支援するため、認知症がはは、過れた意味者				① 人数							F 700	7 (1)	7.04	0 000
	症地域支援推進員を配置するとともに、認知症高齢者 等及びその家族を支えるため認知症カフェの開催、認			認知庁カフ		ェの利用延べ		1. 789	1. 550	2. 257	1. 575	5, 703	7, 61	7, 04	8, 969
		<b>印症家族会の運営支援と認知症本人ミーティングの開</b>				人数		1, 709	1, 550	2, 237	1, 373		1		
	催を行う。					. 30							会和 7年	- F度の優先度	
					認知症本人ミーティング ③ 及び家族会の開催回数			17	16	16	17		12.18 /		
3				(3)								□ A	□в	□С	
				Ш				:=37 kn, i= 14 1= 1= 1	<b>点件准 2 ナ 0 L</b>	画 第1 第1 を1	 	 炎支援、認知症	に明十2並む	改みナスドナ	割加点のし
				▎ᇫ	令和 5年度 の評価 ■ 計画どおり □ 遅延 □ 進展なし							X又振、認知症 は、感染症対策			
				13								なっている。説			
								意見交換を行い、認知症の人と家族のニーズを取り入れ				た事業を行うこ	ことができた。		
	事業区分 □ 自	治事務 □ 法	定受託 □ その他	他 .								フェにおいては			
	7 2 6								夏田を進め、各地区の認知症カフェにおいては継続した運  ■ 表演のニーズを踏まえ、施策の展開を図る。						
	計画対象 □ 実	施計画査定対象	□ 行政改革対象	( 5	汉晋	□ 14年 □  □ 廃止	称。」	呂又抜を仃つ	(いく。事果)	で把握した認知症本人や家が		族の―一人を塡	省まれ、他東は	<b>ル展用を凶る。</b>	
No.	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■										コスト(事業費:千円)				
10.	認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業 全体事業概要									令和 5年度	令和 6年度	令和 4年度 令和 5年度 令和 5年度 令和 6			京令和 6年度
					活動指標名		単位	実績	計画	実績	計画	決算	当初予算	決算	当初予算
					チームオレンジ配置数		チー	1	1	1	1				
		T症の人が自分らしく暮らし続けることができる共			①		ム								
			環として、認知症の人やその家族									40	12	7 3	0 117
		ミニーズと認知症サポーターを中心とした支援を **###################################													
	つなぐ仕組み・チームオレンジを整備する。														
				H									一节和 /=	F度の優先度	
4				3	3							l 🗆 A	□в	□с	□ D
				Ш						- III			-	-	
					△和 『左曲 ■ 計画どおり			認知症サポー	ターの更なる流	古躍の場として	、令和3年4月	にチームオレン	ノジを 1 チー」 ・ の 円 to ナ	ム設置した。チ	ームオレンジ
				审	ア州 5年度   □ 遅延			コーディネーターを3名配置し、定期的な連絡会を通じた活動支援やチームの周知を実施した。また、レンジと協働で認知症の普及啓発を実施し、地域での活動を進めることができた。						た、ナームオ	
					□ 進展なし			レンノと加強に心体症の自然自死を大地し、地域に切力				対で低いること	- M. C & IZ.		
	  事業区分  □ 自		中巫红 口 るの心			■ 維持 □	拡大	チームオレン	ジの活動周知る	きすすめるとと	:もに、チーム	オレンジ連絡会	€を通じて、氵	舌動の更なる充	医実を図ってい
	尹未込刀 │ │ 日	カライン ロース L スター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	定受託 🗆 その他		今後の方向性	□ 縮小 □						オレンジコーテ		が中心となり、	認知症サポー
	  計画対象 □ 実	施計画杳定対象	□ 行政改革対象	(5	改善措置等)		終了	ターステップ	アップ講座及び	<b>ゾフォローアッ</b>	′ ブ研修を企画	に携わっていく	< .		
			_ 13-21-3111-320			┃□ 廃止		:							